

令和6年度熊本県高等学校総合体育大会柔道競技大会実施要項

- 1 大会名 熊本県高等学校総合体育大会柔道競技大会兼全九州高等学校体育大会・全国高等学校総合体育大会県予選
- 2 主催 熊本県高等学校体育連盟・熊本県教育委員会
- 3 後援 熊本県柔道協会
- 4 主管 熊本県高等学校体育連盟柔道専門部
- 5 期日 令和6年5月31日（金）～6月2日（日）
- 6 会場 山鹿市総合体育館
- 7 競技種目 女子団体戦、女子個人戦、男子団体戦、男子個人戦
- 8 競技日程 女子団体戦 5月31日（金） 13:30 集合 14:00 開会
男子団体戦・女子個人戦 6月1日（土）
（男子） 8:30 集合 9:30 開会
（女子） 12:00 集合 男子団体戦終了後開始
男子個人戦 6月2日（日） 8:30 集合 9:30 開始
個人戦の計量（女子） 5月31日（金） 団体戦終了後～ 30分間
個人戦の計量（男子） 6月1日（土） 団体戦終了後～ 30分間
※個人戦のみ参加校で、前日計量に来られない（当日計量）場合は、前以て専門委員長に連絡すること。

9 競技規定

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び全国高体連申し合わせ事項によって行う。
- (2) 「優勢勝ち」の判定基準
 - ア 団体試合は「技あり」または「僅差」以上とする。「僅差」は指導差2とする。団体試合において、チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦における優勢勝ちの判定基準は「技あり」または「僅差」以上とする。得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を行い必ず勝敗を決する。なお、延長戦では「技あり」以上の得点、または「指導」の数に差がついた時点で試合終了とする。
 - イ 個人試合は「技あり」または「僅差」以上とする。「僅差」は指導差2とする。得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を行い必ず勝敗を決する。なお、延長戦では「技あり」以上の得点、または「指導」の数に差がついた時点で試合終了とする。
 - ウ 「技の内容」と「指導」の重み
一本勝ち＝反則勝ち＞技あり＞僅差の順とする。

10 競技方法

- (1) 試合
 - (団体試合)
 - ア 試合は点取り試合とする。
トーナメント戦により4校選出、4校で決勝リーグ戦を行ない順位を決定する。
 - イ 決勝リーグ戦は勝率高得点による。同率の場合は得点内容を検討する。
同率・同点の場合のみ対象チームから任意に選出して代表戦を行う。
代表戦は競技規定に準ずる。
 - ウ 代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を行う。延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。
 - (個人試合)
 - ア 試合はトーナメント戦とする。
 - イ 「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセッ

トして、ゴールデンスコア方式の延長戦を行う。

延長戦で「指導」の累積により両者が同時に反則負けとなった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。

このことは、1回戦から決勝戦までのすべての試合に適用する。

(2) 個人試合体重区分

[男子の部] 下記の7区分とする。

60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、100kg級、100kg超級

[女子の部] 下記の7区分とする。

48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、70kg級、78kg級、78kg超級

(3) 競技時間

団体、個人試合とも全試合3分間。ゴールデンスコアは時間無制限。

11 参加資格

(1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。

(2) 選手は、熊本県高等学校体育連盟に加盟している生徒であること。

(3) 年齢は、平成17年4月2日以降生まれた者とする。

ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。

(4) チームの編成は全日制課程と定時制課程、通信制課程の生徒の混成は認めない。

(5) 広域通信制高等学校の参加にあたっては、以下のとおりとする。

①広域通信制高等学校の加盟にあっては、全国高等学校体育連盟が示す「広域通信制高等学校本校及び連携校等の都道府県高体連への加盟について（平成26年5月20日全面改定）」を適用する。

②大会の参加は原則として、熊本県高等学校体育連盟定時制・通信制総合体育大会とする。

③運動部活動が教育活動の一環として、日常継続的に顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間帯等の運営が適切であること。

④③に伴い全日制大会参加の特例として、運動部活動が可能な学校に在籍し、かつ日常的に県内で練習等の活動が行われていること。

(6) 複数校合同チームについては、本連盟が定める「複数校合同チームの大会参加規程」に従う。

(7) 転校・転籍後6カ月未満の者の参加は認めない。（外国人留学生もこれに準じる）ただし、一家転住等のやむを得ない場合は、熊本県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りでない。

(8) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。

(9) その他の事項については、全国高等学校体育連盟規定、九州高等学校体育連盟規定の参加資格に準ずる。

(10) 参加資格の特例

ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、県高体連が承認した生徒について、「大会参加資格の別途に定める規定」に従い、大会参加を認める。

イ 上記(3)ただし書きについては、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。

ウ 学年の区別を設けてある課程に在籍する生徒の出場は、3学年までの年齢19歳未満のものに限る。（同一学年の参加は同一競技、1回限り）

(11) 外国人留学生の参加については（団体戦）男・女共1名以内は認める。

個人戦参加制限はしない。

※外国人留学生については、卒業を目的とし入学していること。（短期留学は認めない）

12 参加制限

男子（団体試合）監督1名・選手5名・補欠2名の8名とする。

（個人試合）各学校、各階級3名以内とする。

女子（団体試合）監督1名・選手3名・補欠1名の5名とする。

（個人試合）制限を設けない。

※団体戦で補欠と交代する場合は交代者の位置にいれ、一度退いた選手は再度出場することはできない。オーダーの変更は認めない。チームのオーダーは体重・段位によらず自由とする。（団体戦のメンバー変更は1名までとする。）

13 引率・監督

- (1) 引率責任者は当該校の教員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届け出る。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合はスポーツ安全保険（傷害、賠償責任保険等）に必ず加入することを条件とする。

14 個人情報及び肖像権の取扱い

本大会の参加申込書等によって取得した個人情報の取扱いについては、「熊本県高等学校体育連盟個人情報保護方針」に基づき取り扱う。

また、本大会における競技者及び指導者並びにその他の関係者の肖像の取扱いについては、「熊本県高等学校体育連盟肖像権の取扱規程」に基づき取り扱う。

なお、参加申込書の提出をもって、これらの取扱いに関して参加者生徒及びその保護者の承諾を得たものとして対応する。

15 参加申込

申込後の選手変更については、所定の選手変更届および診断書などを併せて提出すること。

(1) 申込書類

- ア 申込用紙 男子用、女子用
- イ 参加生徒一覧
- ウ 参加料の振込通知書のコピー（A4サイズ）

(2) 申込方法及び申込先

- ① <http://www.kumamoto-kotairen.jp/> よりファイルをダウンロードする。
- ② データを入力後、koutairen@kumamotojudo.jp へデータを送る。
- ③ データを印刷し、下記の住所に郵送する。

〒862-0950 熊本市中央区水前寺5丁目23-2
熊本武道館内 熊本県柔道協会 宛

(3) 申込期限 5月8日（水）必着

16 参加料

- (1) 参加料は、高体連加盟校の生徒一人500円、非加盟校の生徒一人1000円とする。

(2) 納入方法

- ア 各学校でとりまとめ、加盟校及び非加盟校ともに参加申込みと同時に所定の要領で下記へ振り込むこと。※手数料別（各校負担）
- イ 振込先

熊本銀行 宮地支店 店番013 口座番号（普通）3056358 熊本県高体連柔道専門部 代表 穴井 和之
--

17 表彰

団体、個人とも3位までを表彰する。

18 諸会議日程

5月9日（木）熊本武道館 高体連柔道部専門委員会で組み合わせを決定する。

19 その他

- (1) オーダー用紙を各校で準備し当日持参すること。
〔作成方法〕：熊本県高体連HPよりダウンロードした「申込ファイル」内の「オーダー作成シート」にデータを入力し印刷する。
- (2) 大会当日に負担金（全国高体連柔道部研究調査報告書代等）4000円をご準備ください。
- (3) 柔道衣背部には必ず名字（姓）及び所属が明記されたゼッケンを着けること。